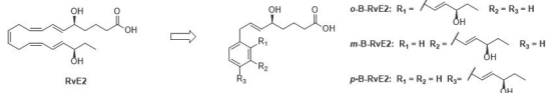


22T-am07S

炎症収束脂質レゾルビン E2 のスキップジエン構造をベンゼン環で置換した安定等価体創製研究

○村上 侑斗¹, 福田 隼², 石村 航平¹, 平島 洸基¹, 室本 竜太¹, 渡邊 瑞貴¹, 松田 正¹, 周東 智¹ (¹北大院薬, ²長崎大院医歯薬)

【目的】 レゾルビン E2 (RvE2) は強力な抗炎症作用を示すため、新たな抗炎症薬のリード化合物として注目されている。しかし、RvE2 は多価不飽和構造を有するため、安定性に問題がある。本研究では RvE2 の安定等価体の創出を目的に不安定なスキップジエン部分をベンゼン環で代替した新たなアナログ *o*-, *m*-, *p*-benzo-RvE2 (B-RvE2) の合成を計画した。



【方法と結果】 2-ヨードベンジルアルコールをビニルスタナン **1** 及び **4** と Stille カップリングにより順次連結し、脱保護、加水分解を経て *o*-B-RvE2 を合成した。また同じ経路から対応するヨードベンジルアルコールを用いることで *m*-B-RvE2 および *p*-B-RvE2 も合成した。3 種のうち、*o*-B-RvE2 が RvE2 と同等以上の抗炎症活性を示した。

